



アンネのバラ

吉高人権だより

2023年 1月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

「出会いは奇跡」

英語科 兵頭 美歌

指揮者になることが夢だった亡き父の影響もあり、私はジャンルを問わず音楽が好きです。生徒会の皆さんが清掃の時間に流している音楽も、毎日「今日は何かな？」と期待しながら聴いています。最近、久しぶりに興味を持った音楽は、乳幼児向けの番組で流れる歌の数々です。身近なところで赤ちゃんが誕生し、その番組を見る機会が多くなったことがきっかけです。明るくやさしいメロディーや歌詞、フラメンコなどの外国の文化に親しめるよう工夫されたものなど、曲のそれぞれに様々なメッセージが込められており、どれもすばらしく、本当に上手く作られていると感激します。子どもが大きくなって以降、離れていたジャンルで、赤ちゃんに出会わなければ巡り合えなかった音楽でした。

私たちの周りには数えきれない出会いがあると思います。心に残る音楽や本、絵画、食べ物、趣味や得意分野に関する出会い、そして言うまでもなく、人との出会いは、格別大きな影響があります。その中には、自分にとってうれしい出会いばかりではなく、辛く苦しい出会いもあるかもしれません。でも、その出会いの一つひとつに必ず何かの意味があり、自分を成長させてくれる要素があると思います。

皆さんはどんな友だちといる時が楽しいですか？私自身はそう問われたら、高校生の前半くらいの時なら、「共通点の多い人」と答えたかもしれません。同じ考えの人といると共感できて気持ちも楽だと感じていたからです。しかし、自分と違う考えを持つ人と交流することは、自分にとって刺激があり、楽しいと思えることもあります。全く考え方の違う人と出会い、それを受け入れることで、もっともっと違う新しい景色を見ることができるようではないでしょうか。私自身は、幼い頃音楽の道に進むことを考えた時期がありましたが、英語の教員になったからこそ、ここで皆さんと出会うことができました。明るく朗らかでやさしい気持ちを持った吉田高校の皆さんと出会えたことが本当にうれしいです。これからも、授業や学校行事で皆さんのことをもっともっと知りたいと思っています。

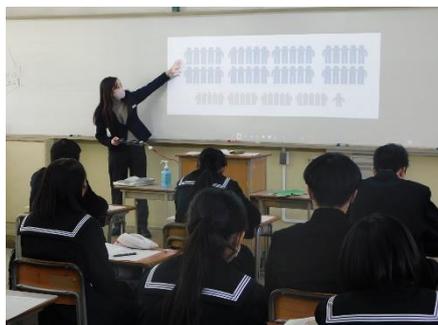
先述の赤ちゃんは、たくさんの出会いがあって誕生したのだと思うと、とても感慨深い気持ちになります。自分自身も、両親や祖父母や、更に自分の知り得ないところで数えきれないほどの出会いがあったおかげで生まれ、こうして今を生きていることは奇跡だと感じます。そして、みなさんも目の前の友だちと話していること自体、一つの奇跡ではないでしょうか。まだまだ私たちにはこれから数えきれない奇跡の出会いが待ち受けています。その出会いの一つひとつと、今生きているという奇跡に大切に向き合い、前へ進んでいきたいものです。

【人権集会】



12月9日（金）、人権集会をオンラインで実施しました。今回は北朝鮮による拉致問題を取り上げ、横田めぐみさんとその家族を中心に拉致問題を描いたアニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題の解決には世論の高まりが必要なことや、現在、日本に住んでいる在日韓国・朝鮮人の人たちへの誹謗・中傷やいやがらせは問題の解決にはつながらないことなどを学びました。

【人権・同和教育ホームルーム活動】



12月9日（金）、2年生が人権・同和教育ホームルーム活動を行いました。今回は解放令の発布から全国水平社の結成までの歴史について取り上げました。解放令の発布で被差別身分の呼称はなくなったけれど差別が残ってしまった理由や、融和運動の果たした意義、「水平社宣言」にこめられた人々の解放への思いについて考えました。

生徒の感想を紹介します。

自分は、決心しても意志がゆらくことがたまにある。全国水平社を創立し、部落差別をなくすために活動し続けた方の生きざまに感動したし、尊敬した。

差別をやめてもらうのではなくて、みんな平等という考え方がかっこいいと思った。

今も部落差別が残っていて、昔の人が行った運動などを風化させないように私たちが理解を深めようと思いました。

人の意識を変えることは難しいが、間違った意見や偏見を持っている人がいたら、（自分が）学んだことは伝えられる。